

岡山県合唱連盟機関紙
トウッティ 第21号

発行責任者：岡山県合唱連盟
事務局長 内田 毅
事務局：岡山市福泊168-7
TEL/FAX (086) 274-2726

Tutti

カンタートがやって来るゾ
△土目貝佳木△ロ！

おかあさんのための合唱講習会「カンタート」が七月に開催されます。参加要項も出来上がり連盟の皆さんはもちろんのこと、近隣の各支部各団体へ発送を終わりました。内容は参加要項にもありますが盛り沢山のメニューとなっております。講師としては、全日本合唱連盟の佐藤理事、副理事長の関屋・辻・吉村各氏、京都エコー・住友金属の指揮者浅井敬豊氏、近藤理事長の同期生で札幌大谷短期大学輪声会の穴戸悟郎氏、声楽家ではお馴染みの大志万明子さん、その恩師である移川先生、他の先生方をお願いしています。

「おかあさん」と銘打っていますので若い女声の方や男声は参加できないと思われるかも知れませんが、そんなことはありません。どうぞ積極的に参加して技術を吸収してください。

昨年私は視察ということで岐阜県に行かせていただきました。会議等も平行して行なわれたため充分に受講することが出来ませんでした。移川発声講座は指導者にもぜひ受講して欲しい講座だったと思います。

さて、準備はまだ途についたばかりこれから大変になります。おかあさん団体の方にもお手伝いをお願いしなければなりません。受講者は予想どおり集まるだろうか、阪神・淡路大震災の影響はないだろうか、と悩むことはたくさんあります。五月からは朝日新聞の三階に事務局を開設し、おかあさん理事に交代で詰めていただきます。また色々とお相談、お願いをすることになると思いますが、どうぞよろしくご助力下さい。

(事務局 内田)

支部事務局長会議に出席して

去る二月四日(土)、神奈川県箱根強羅で支部事務局長会議が開かれました。昨年は大雪の中を京都に集まったのを思い出します。新参者の私が本部・地元以外では一番乗りでした。今年も遅刻して最後になってしまいました。というのも兵庫・京都・大阪で新幹線が不通になり、急遽空路を手配しましたが岡山空港は大混雑で空席が無く、やむなく四国高松空港から羽田に飛び、東京・小田原・箱根と大回りをしたからです。時刻表ではギリギリ遅刻しないですみそうでしたが、都会に不慣れた田舎者ゆえに八回の乗り換えが時間のロスを生んだのでしよう。

さて、会議の中で提案されたことを少し披露しましょう。

- 一、全日本合唱コンクール
 - 二、全日本合唱コンクール(中学)
 - 三、おかあさんコーラス大会
 - 四、ジュニアコーラスフェス
 - 五、コーラスワークショップ
 - 六、おかあさんカンタート
 - 七、国民文化祭(共催)
- があります。これにあと二つ事業を増やして九つとし、各支部で毎年一つずつ順番に開催を担当するようにならぬいかということ。全国的な大会を身近に開催してコーラスの啓蒙に役立てたいの思いからの提案でした。
- 次にハーモニの支部のページについて。前々から原稿を頼まれても決められた字数が少なく思うことが何も書けないと感じていました。
- 何で関西だけが二ページなんだとも。吉村事務局長がそのことに触れられたので、我が意を得たりとばかりに意見を述べさせていただきました。
- しかし編集サイドから、「紙面の体裁

等を考えて、二ページにするなら二ページ分の原稿をきっちり揃えて欲しい」とか「時期によっては記事にする事無いときもありますよ」と言われると「現状で納得した方が楽かな」と弱気も出て来ました。

いやいや、中国支部だけでも原稿の字数制限を無くして書けるだけ書いて貰おう。写真を入れても字数を減らさなくても良いようにしてみようかと考えながら会議を終わりました。

翌日は雪でした。箱根でも今年の初雪だそう。チェーンを着けて更に上に登りながら事務局の伊集院女史をなだめながら下山することになりました。大波瀾に音をあげて私は途中下車し、登山電車で小田原へ。

下界は嘘のようなポカポカ陽気です。梅の花も満開。時間もたっぷりあったのでのんびりと東海道線の各駅停車で浜松町まで降り四国高松経由で帰らせていただきました。

支部事務局長 内田 毅

以上の原稿と県連の原稿二つを送ったところ、やはり原稿の字数が多すぎるので困るとの連絡がありました。それでこの原稿はボツとなったのです。今までの形を変えないということはもう簡単には出来ないですね。



どうぞよよろしく

(新しく加盟された)

合唱団の紹介です)

岡山市立興除中学校音楽部

今年度から合唱連盟に加入させていただいたことで、活動の機会や鑑賞の申が広がり、充実した一年を送ることができました。

合唱フェスティバルでは、シンフォニーホールで歌える喜びだけでなく、一般の方々や大学生の人達の豊かな響きのハーモニ、楽しい歌声や、コスチュームに出会って、驚いたり、感心したりしました。

十二月のコンサートシーズンには、色々なコンサートを聴かせていただきましたが、特に、合唱オペラ「タロウの樹」は、秋の遠足の、広島での平和学習で学んだことと重なるので、深く感動しました。

興除中学は、岡山市の南の端で、広々とした水田に囲まれています。春はれんげ草、夏は、水田を渡る風、冬はからっ風になって、つらいのですが、学校全体は、ほんわり暖かな雰囲気です。のんびりとした、楽しい学校生活を送っています。生徒会活動、委員会活動、学級活動が盛んで、部員全員が集まるのは一ヶ月でも、わずかしきありません。それはとても残念ですが、短い時間でも、集中して、練習するように、一人一人が心がけています。また、今年度は地区の催しに参加したり、ボランティア活動をしたりと、合唱をとおして、多くの経験ができました。これからも、できるだけ練習をして、美しい合唱づくりをしていきたいと思っ

います。合唱連盟の皆さん、どうぞよろしく願います。

(部長 加納教代)

藤田中学校音楽部

こんにちは、藤田中学校音楽部です。

本校は岡山市の南部に位置し、周囲には笹ヶ瀬川や児島湾等がある自然豊かなところです。近年では国道三〇号線をはじめ、沿道の発展が激しく促進されています。この環境の中で、「自主・自立」を校訓として、子供達は充実した学校生活を送っています。

現在、部員は一年生五名、二年生十六名の女子ばかりの部です。昨年の夏には、初めて合唱コンクールに参加しました。みんなで心を一つにし、一つの曲を歌いあげるといわずばらしさとともに、その難しさをも体験しました。コンクールの結果はさておき、みんなが参加したという意義は大変大きかったと思います。コンクールの講評のなかで印象深い言葉がありました。「歌は心で歌うです。一見、あたり前のようですが、実際にはなかなか難しいと思います。日頃の練習から、それぞれの歌のイメージをふくらませ、少しでも心をこめて歌えるように練習をしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。

合唱団めぐり

コールあまくさ



我が団の有名人
名前：若井 昭子
生年月日：S23.11.1
血液型：O型
出身地：岡山市
パート：ソプラノ
合唱歴：16年

(団員協力)
練習の音がそろわないこと、高齢者が多いこと、若い人にもと入ってほしい。(団のモットー)
明るく、楽しく、美しく♡
(今後の課題)
発声をもっとしかりと、美しい歌声になるようにしたい。

去る一月二日(土)、鴨方町では第二回ふれあひ音楽会が開かれておりました。コールあまくさの皆さんが出演されるので、鴨方町民会館まで訪れ、演奏後インタビューに答えさせて頂きました。



あまくさの名前の由来
あまくさ公園(あまのこ)とあまくさ池(あまのこ)の練習場所(あまのこ)のコールあまくさという名をつけた。

今後の活動
浅口町の文化祭 2/5(日)
合唱のスタバール 6/4(日)
おかあさんコンサート 2/2(日)
町の文化祭
敬老会 2/15(金)
第3回大草ふれあひ音楽会

皆、お集まりいただき、ありがとうございました。

六年度を振り返って

事務局長 内田 毅

平成六年度の県連の事業も先日のアンサンブルコンテストを以て滞り無く終了しました。この一年、支部関係の事業が合唱講習会、中国合唱コンクール(中学校部門)と二つあり例年よりは忙しい一年であったと思えます。

それぞれの事業で事務局の不手際等が多々ありましたが、理事長はじめ副理事長・理事の方々、そして加盟員の皆様方の温かいお力添えのおかげで、何とか大きなほころびもなく終了出来ました。心より御礼申し上げます。ではそれぞれの事業を私なりに振り返ってみましょう。

一、定例総会(四月十日)
ゆつたりとした会場を確保出来ず、大変ご迷惑をおかけしました。立ったままでの総会など前代未聞でした。新規加盟団体を十団体迎えました。その後も加盟をされた団体があり、現在は七十六団体、二千五百名の会員となりました。

二、合唱講習会

(五月十四・十五日)

全日本の講習会を児島文化センターで開催しました。例年だと七月末の開催ですが、思い切って早めてみました。中国支部内はもろろんのこと、九州・四国からも受講者がありました。開催時期を早めたのが原因で、中学生のための講座も設けました。好評でした。ただ、モデル合唱同という言葉の解釈を巡って少しゴタゴタしたのが残念です。

三、合唱フェスティバル

(六月五日)

今年も史上最多の52団体の参加がありました。いよいよ二日間開催を考えなければならぬような勢いです。進行もスムーズで進行表通りに運び、いつもは辛口の系賀先生に褒められました。

中村先生のおかげです。

四、おかさんコーラス大会

(七月十日)

今年も十五団体の参加がありました。全国大会には夕なぎコーラスが推薦され京都に行かれました。中国支部には今年七団体の枠があり参加団体数によっては岡山県から二団体推薦できる可能性もあったのですが、広島・山口に持っていかれました。あと三団体ほど増えれば二団体推薦できます。頑張りましょう。

五、県コンクール(八月二八日)

今年度から中学校も正式に加盟して、中・高・大・一般・Cと五部門で開催しました。中学校では五校が台数での支部大会へ、高校で三校、大学で二団体、一般で二団体が鳥取での支部大会へ推薦されました。全日本理事長賞は倉敷中央高校合唱部、糸賀賞は倉敷市民合唱団に輝きました。中国大会へ行くときまだまだの感があります。

六、中国合唱コンクール

(九月二三日)

今年度から中学校部門にも支部大会を取り入れられました。その第一回大会を開館間もない倉敷市芸文館で開催しました。結果は島根県勢に代表を総てさらわれるということになりましたが、楽しい一日を過ごせたことと思えます。

私はコンクールの雰囲気が好きです。会場を下見していたり、遠くから団員を運んできたバスを見かけたりという前日の情景。歌う前の緊張感に包まれた団員達の表情。いいなあ、自分もそんな緊張感を味わいたいな、と。

七、アンサンブルコンテスト
(二月十二日)

今年のアンコンも盛況でした。六十三グループ、開会を早めたり休憩を削ったりしましたが、結局午後六時半までかかってしまいました。グラランプリは「アンサンブル・アマカ」に輝き、高校部門が充実していることを証明しました。理事も私が昨年戯事を言ったばかりに付き合わされることとなり、急拠「リリース」を結成。ほとんど当日の練習だけで歌う羽目になりました。各団に帰られて信用を落とされていいいかと心配しています。

(写真はアンサンブル・アマカ)



#うつつとちやん通信10b

平成七年度の事業日程について

平成七年度の事業については、まだ総会で承認を受けておりませんが、会場の予約等の関係で日程が決まっておりますのでお知らせしておきます。

・定例総会

四月九日(日) 十三時から
岡山市立京山公民館

・第四回合唱フェスティバル
六月四日(日)

岡山シンフォニーホール
・第一八回おかさんコーラス
中国支部岡山大会
七月九日(日)

岡山市民文化ホール
・第一八回おかさんコーラス
全国大会
八月二十六日(土)

八月二十七日(日)

・群島県高崎市
・第四八回岡山県合唱コンクール
八月二十日(日)

・岡山市民文化ホール
・第三四回中国合唱コンクール
九月三十日(上)

十月一日(日)

・広島郵便野金会館
・第四八回全日本合唱コンクール
十一月十七日(金)

十一月十八日(土)

・香川県県民ホール
・第三回アンサンブルコンテスト
平成八年二月十一日(日)

倉敷市芸文館

以上、日程を良く検討されて、各事業に積極的に参加されるよう望みます。
うつつとちやん

コ ン サ ー ト 情 報

◇ 三井造船玉野合唱団第32回定期演奏会
 日 時 : 平成7年5月14日(日) 14時開演
 会 場 : 玉野市総合文化センター(玉野市宇野)
 曲 目 : Missa U Magnum Mysterium(Victoria) 混声合唱組曲「家族」(岩河三郎)
 入 場 料 : 500円
 お問い合わせは (0863) 23-2286 坂本まで

◇ ポット・マム第4回定期演奏会
 日 時 : 平成7年5月21日(日) 14時開演
 会 場 : 岡山県総合文化センター(岡山市天神町)
 曲 目 : KLEINE STILLE NACHT-MUSSE(KRONSTEINER)
 童謡、動物のカーニバル(サ・サ・ス)
 入 場 料 : 500円
 お問い合わせは (086) 273-5176 松本まで

◇ 文化センター合唱団第30回記念定期演奏会
 日 時 : 平成7年5月27日(土) 18時開演
 会 場 : 岡山市立市民文化ホール(岡山市小橋町)
 曲 目 : 「心の四季」(高田三郎) 思い出のステージ、「海の童話」(中田喜直)
 入 場 料 : 500円
 お問い合わせは (086) 276-0003 内田まで

◇ フランテシエク・ハーバ女声室内合唱団演奏会
 日 時 : 平成7年4月20日(木) 18時半開演
 会 場 : 岡山市立市民文化ホール(岡山市小橋町)
 曲 目 : 世界の合唱名曲集、チャコ・ヌバ名曲集、日本の歌曲集
 入 場 料 : 2,000円
 賛助出演 : 女声合唱団「岡山なでしこ」、夕なぎコーラス

編 集 後 記

四月二十日(木)岡山市市民文化ホールでフランテシエク・ハーバ室内女声合唱団の演奏会がありました。この合唱団は指揮者フランテシエク・ハーバ氏が主宰する女声合唱団で第4回東京国際合唱フェスティバル(全日本合唱連盟他後援)に参加するために2度目の来日をします。3年前に来日した際は東京・横浜・大阪等で演奏会を開き絶賛を浴びました。ヨーロッパでのコンサートなどで数々の賞を獲得されていますので、今回もヨーロッパの高レベルの演奏を聴くことが出来ると思います。当県連も後援をし、女声合唱団「岡山なでしこ」と夕なぎコーラスが賛助出演しています。皆さんぜひ聴きに、応援に行きましよう。チケットは総会当日にも販売しますので代表者の方は必要枚数を取りまとめ来ていただければ助かります。

さて、予定よりも約一ヶ月遅れてやっと二十一号を皆さまに届ける事が出来ました。遅くなって申し訳ありません。その原因は、紙面を読まれて判られたと思います。が、原稿が集まらなかったのです。私の文章が半分以上を占めているのです。一時は忙しかった事もある。休刊も考えました。原稿の無い場所は白紙で(検閲を受けたように)出すか、あるいは二ページだけにすることも考えました。しかし延び延びにしている内に一つ片づき、二つ片づきで今日三日月未明やっとワープロを打終わりました。来年度はもっと原稿を集

めて楽をしたいと思っています。そこで原稿の募集についてお願いいたします。原稿はいつでも休み無く受け付けています。発行の時期は五月、八月、十一月、二月を考慮しています。その月の始めまでにお寄せいただくとその後の紙面に載せる事が出来ます。記事の内容、字数等の制限はありません。短歌・俳句・川柳から詩・紀行文・報告文・演奏会を聴いた感想文でも結構です。うまいものを食べさせてくれるお店や、すてきなマスターのいるお店の紹介でも何でもいいのです。なるべく柔らかい内容を多く取り入れたいと思っています。これは理事にもお願いいたします。理事長・副理事長を入れると三十二人ですから、一回で八人に原稿を頼めますね。そうなれば楽勝ですよ。

丹精は誰しらずとも

秋のみのりのまさる数々
 (二宮 尊徳)

県連の理事はあくまでもボランティアです。何の権力もありません。従って何の拘束もありません。しかし理事としての義務はあります。暇なときに手伝う義務です。コンクール等としどし出ていって欲しいと思います。

理事だからといっておごる事なく、謙虚な気持ちで努めて下さい。相手を思いやって明るく楽しくやりましよう。

ボランティアですが必要経費はお支払いたします。コピー代、消耗品代、切手代等請求して下さい。
 事務局 内田 毅